

Geotechnical Forum 2026

地盤技術フォーラム 2026

Soil and Groundwater Remediation Technology Expo

土壌・地下水浄化技術展

環境にやさしい浄化技術、企業活動と自然の共生をめざして

PFAS対策ゾーン

Ground Improvement Technology Expo

地盤改良技術展

地盤改良技術・工法に関わる、ビジネスマッチングと事業拡大の促進を目指して

Foundation Engineering Expo

基礎工技術展

建築、道路・港湾・鉄道構造物、産業施設などインフラを支える基礎工の技術・工法および周辺技術を一堂に

Disaster Prevention Technology Expo

災害対策技術展

地震・豪雨など自然災害による地盤災害対策に関する工法・製品・サービス・コンサルティングを一堂に

2026年9月16日(水)～18日(金)

10:00～17:00

東京ビッグサイト 東ホール

**出展の
ご案内**

主催：産経新聞社、 一般社団法人土壌環境センター（土壌・地下水浄化技術展）

共催：基礎工 月刊「基礎工」（株式会社総合土木研究所）／ パイルフォーラム株式会社

オーガナイザー／展示会事務局：（株）シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST神田須田町4F
TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909 E-mail: info2026@sgrte.jp

<https://www.sgrte.jp>

地盤技術にかかわる4つの展示会を一堂に開催！

地盤技術フォーラムの総合タイトルのもと「土壌・地下水浄化技術展」「地盤改良技術展」「基礎工技術展」「災害対策技術展」の4展示会を来る2026年9月16日～18日までの3日間、東京ビッグサイトにて開催します。

「土壌・地下水汚染」は最も古くから認識されている地盤環境問題の一つですが、新たな汚染物質の登場や規制強化に伴い、その対策は常に進化が求められています。近年、特に注目されているのがPFASによる土壌・地下水汚染です。環境への影響や健康リスクが懸念されており、その検出・分析技術、浄化技術の開発、そして法規制や対策基準の整備が急務となっています。本展示会ではセミナーなどを通じて最新の情報を発信してまいります。

気候変動によって、地盤環境に新たな、あるいはこれまで以上に深刻な影響を及ぼしているため、「地盤改良技術展」や「基礎工技術展」では地盤の強度や安定性を向上させるための様々な工法、材料、施工機械、管理システムなどインフラを支える様々な技術を紹介します。

また、「災害対策技術展」を併設することにより、地震、豪雨、地盤沈下など、複数の災害や環境問題が複合的に発生する可能性を考慮した対策も展示公開してまいります。

気候変動への適応・緩和(脱炭素化、環境汚染対策)、デジタル技術のさらなる社会実装、激甚化する自然災害への強靱化といった視点から、多岐にわたるセミナーも併設し、様々なニーズに対応できる情報を発信します。

皆様からの積極的なご参加をお待ちしております。

会期 2026年9月16日(水)～18日(金) 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト 東ホール

土壌・地下水浄化技術展

環境にやさしい浄化技術、企業活動と自然の共生をめざして

出展対象 ●分析 ●調査・コンサルタント ●処理システム(重金属・汚泥水など) ●浄化技術・機器 ●その他情報関連

新設 PFAS対策ゾーン

出展対象 ●測定・分析 ●除去・浄化技術 ●分解・無害化技術 ●代替材料・技術 ほか

地盤改良技術展

地盤改良技術・工法に関わる、ビジネスマッチングと事業拡大の促進を目指して

出展対象 ●各種地盤改良工法(固化[深層・中層・浅層]、締固め、圧密促進・排水、薬液注入、荷重低減 等) ●液状化防止工法
●ICTを活用した施工機械、周辺機器、管理装置 ●材料(セメント、スラグ、薬剤、新材料、リサイクル材 等)

基礎工技術展

建築、道路・港湾・鉄道構造物、産業施設などインフラを支える基礎工の技術・工法および周辺技術を一堂に

出展対象 ●各種基礎工法(杭基礎(既製コンクリート杭、鋼管杭、場所打ちコンクリート杭 等)、ケーソン、鋼管矢板、地中連続壁 等)
●杭頭関連技術 ●各種地下工法(山留め・土留め、既存杭撤去、立坑 等)
●地盤調査技術(ボーリング技術、サンプリング技術、原位置試験技術 等)
●ICTを活用した施工機械(土工機械、基礎工事機械 等) ●戸建て住宅に関する地盤調査・補強技術

災害対策技術展

地震・豪雨など自然災害による地盤災害対策に関する工法・製品・サービス・コンサルティングを一堂に

出展対象 ●斜面・のり面の対策工法(斜面崩壊対策、落石対策、吹付・吹付枠、地山補強土、のり面緑化、補修・補強・修復、その他の対策工)
●土構造物の検査・点検とその対策工 ●河川堤防、海岸堤防・護岸、ため池の検査、点検、補修、補強
●宅地、宅地擁壁、ライフライン埋設管路における検査、点検、補修、補強
●ICTを活用した検査・点検・施工管理(各種センサー技術 等)
●作業者の安全対策に関する製品・技術
(個人用保護具、安全管理・作業支援システム、作業環境改善設備、災害・緊急時対応用品・設備、安全教育・訓練ツール 等)

主催：産経新聞社、一般社団法人土壌環境センター（土壌・地下水浄化技術展）

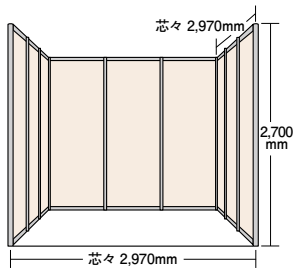
共催：月刊「基礎工」(株式会社総合土木研究所)／パイルフォーラム株式会社

後援、協賛は関係省庁、団体へ申請し、決定次第公式 Web サイトに掲載致します。前回の申請実績は、「前回開催実績」をご覧ください。

●出展要項

Aタイプ (側壁・後壁のみ設置・角小間は側壁なし)

小間規格：1小間：間口2,970mm×奥行2,970mm・芯々寸法
側壁・後壁のみ設置(角小間は側壁なし)
※独立小間は1小間あたり3m×3m



出展料 (消費税10%込・1小間単価)

451,000円 (消費税10% 41,000円込) / 1小間

出展料に含まれるもの：

間口2,970mm×奥行2,970mmの展示スペース、間仕切り(後壁・側壁、独立小間はスペースのみ)

小間のレイアウト 並列小間、ブロック小間および独立小間が可能です。

小間アレンジ		装飾 高さ制限
A	ブロック小間は、4小間以上の偶数小間に限ります。	4m
	並列小間は、5小間までとします。	1～3小間：2.7m 1mセットバックした部分のみ4m
B	独立小間は、6小間以上とします。	4～5小間：4m
C		5m

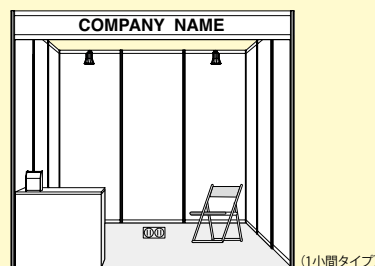
パッケージ装飾 (別途有料) ※詳細・申込については、出展者マニュアル(2026年7月頃)にてご案内いたします。

小間装飾を簡易に行うためのパッケージプランをご用意いたします。

▶1小間タイプ (間口2,970mm×奥行2,970mm)

143,000円 (消費税10%込)

社名板(パラペット)/社名表示(黒・ゴシック)/受付カウンター：1台(W900×D450×H800)/床面カーペット/電気(LED蛍光灯20W：1灯、LEDスポットライト15W：2灯)/折りたたみ椅子：1脚/名刺受け：1個/1kW分の電気幹線工事費、使用料/コンセント：1個(2口、アース付100V)



Bタイプ (一定装飾付き) 1社2小間まで

小間規格：1小間：間口1,980mm×奥行1,980mm・芯々寸法
一定装飾付き(角小間は側壁なし)

出展料 (消費税10%込・1小間単価)

264,000円 (消費税10% 24,000円込) / 1小間

- 出展条件**：
- ・1社2小間までといたします。
 - ・係員の常駐を必須とさせていただきます。
 - ・展示規格Aタイプとの併用出展は出来ません。
 - ・ブース内でのマイク、スピーカー等を利用したプレゼンテーションは出来ません。

出展料に含まれるもの：

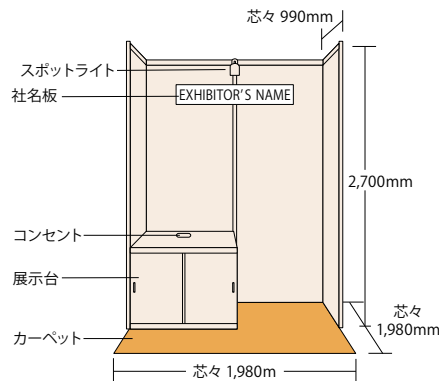
間口1,980mm×奥行1,980mmの展示スペース、間仕切り(後壁、側壁990mm)、社名板、カーペット、展示台：横幅0.99m×奥行0.99m×高さ1.02m、引き戸ユニット(鍵ナシ)、LEDスポットライト15W×1、コンセント：2個口×1

500Wまでの電気幹線工事費・電気使用料

※備品の追加注文がある場合は、別途ご請求させていただきます。

※詳細については、出展者マニュアル(2026年7月頃送付)にてご案内いたします。

※上記基本ディスプレイを使用しない場合も、料金を差引くことはできませんのでご了承ください。



装飾の高さ制限について

装飾の高さは2.7mまでとします。
(出展製品独自の高さはこの限りではありません)

●製品・技術発表会(先着18社様限定)

展示会場内の特設セミナースペースで開催する新技術・新製品PRセミナー

日時：2026年9月16日(水)～18日(金) 10:00～17:00 内で30分間

場所：展示会場内特設会場(シアター形式 50名定員)

発表料金：1セッション 55,000円(消費税10%込)

運営方法：1、聴講無料(各回総入替)

2、受付・進行は発表各社が担当(登録や名刺回収は自由です)

会場設備：受付(机、イス)、聴講席(50席)、演台、マイクセット、プロジェクター、スクリーン

P R：案内状、ホームページ等に社名・プログラムを掲載

(注)・申込書に20字以内で発表テーマを記載下さい。

・終了後は現状復帰をお願いいたします。

・PC使用の場合は各自お持込下さい。※接続テスト等とはご相談下さい

・発表日時は主催者にて決定します。

●公式Webサイト バナー広告

貴社のリンクバナーを公式WEBに開催約1か月前から掲載

掲載期間：2026年8月中旬～9月末 ※予定

掲載仕様：W200px×H40px GIF形式 ※アニメーションGIF可

発表料金：1枠 55,000円(消費税10%込)

原稿締切日：2026年7月31日(金) ※リンク先指定の上、完成データをご提出下さい。

前回開催実績

地盤技術フォーラム2024 レポート

(土壌・地下水浄化技術展 / 地盤改良技術展 / 基礎工技術展 / 災害対策技術展)

- 会 期： 2024年9月18日(水)～20日(金) 東京ビッグサイト 東1ホール
- 主 催： 産経新聞社、一般社団法人土壌環境センター(土壌・地下水浄化技術展)
- 共 催： 月刊「基礎工」((株)総合土木研究所)／パイルフォーラム(株)
- 後 援： 国土交通省、環境省、国立研究開発法人建築研究所、国立研究開発法人土木研究所、
独立行政法人水資源機構
- 協 賛： (公財)日本環境協会、(一財)国土地盤情報センター、(一財)日本ダム協会、(一財)ベターリビング、(公社)化学工学会、
(公社)環境科学会、(公社)地盤工学会、(公社)土木学会、(公社)日本港湾協会、(公社)日本地下水学会、
(公社)日本地すべり学会、(公社)日本水環境学会、(一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会、(一社)コンクリートパイル・ポール協会、
(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)セメント協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全日本建設技術協会、
(一社)土地改良建設協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)日本環境化学会、(一社)日本基礎建設協会、(一社)日本建築学会、
(一社)日本建設業連合会、(一社)日本潜水協会、(一社)日本地質学会、(一社)日本土壌肥料学会、(一社)廃棄物資源循環学会、
地中連続壁協会

開催規模：

社・団体数	89社・団体
小間数	130小間

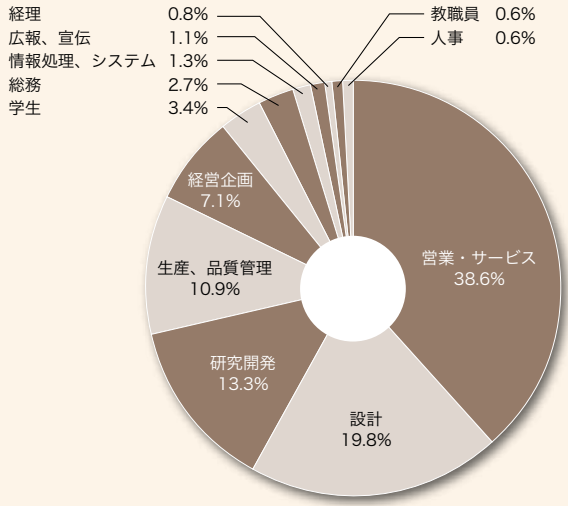
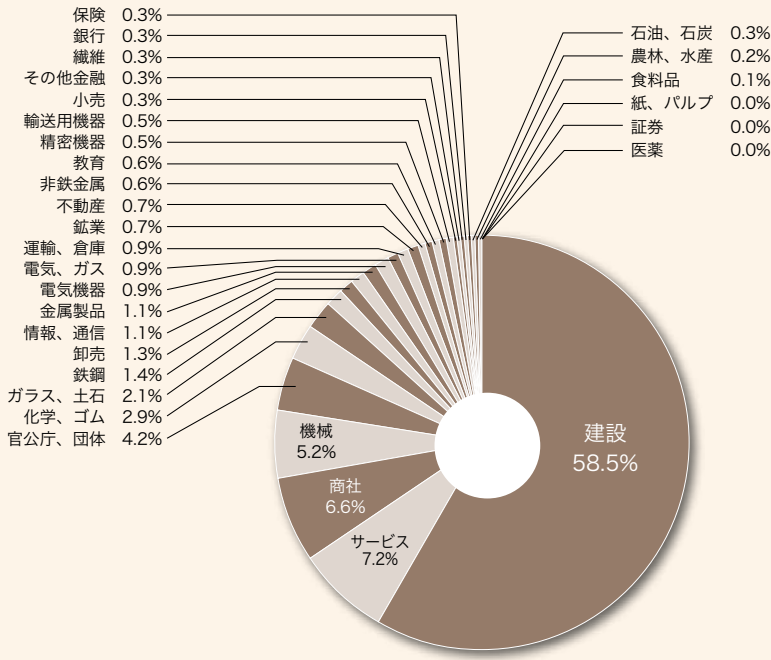
出 展 者：

新地盤凍結工法 ICECRETE 協会	昭和鋼機(株)	パイルフォーラム(株)
青山機工(株)	(一社)セメント協会	パワーブレンダー工法協会
旭化成建材(株)	ソイルメックジャパン(株)	ビーエルテック(株)
(株)ウエリントンラボラトリーズ ジャパン	(株)総合土木研究所	PTFE 処理防塵固化材協会
宇都マテリアルズ(株)	大成建設(株)	PFAS対策技術コンソーシアム
(株)エイチテック	太洋基礎工業(株)	ヒロセ補強土(株)
(株)エスエスティー協会	／浅深四軸工法協会	VMC Motion Technologies(株)
(株)SGL	TRD 工法協会	(株)不動テトラ
(株)エステック	(株)テノックス	北京金山基礎工程コンサルティング有限公司
(株)エンバイオ・エンジニアリング	東京機器(株)	マイスター(株)
応用地質(株)	東京コンテック(株)	マルチドリル工法協会
(株)オーク	東興ジオテック(株)	三谷セキサン(株)
(株)大林組	(株)東設土木コンサルタント	MITS 工法協会
(株)加藤建設	(株)トーマック	室町ケミカル(株)
環境パイル(S)工法協会	／オープンビット工法協会	横浜ライト工業(株)
(株)KANSOテクノス	どこでもコンクリート DMCsystem	ライト工業(株)
／JFEシビル(株)	(一社)土壌環境センター	レジェンドパイプ工法協会
(株)キナン アイキ事業部	(株)トラバース	(株)ワイビーエム
ケミカルグラウト(株)	(株)西日本試験機	
国際航業(株)	／日本システム管理(株)	
(株)サイン・ハウス	日特建設(株)	
GIコラム研究会	日邦電機(株)	
(株)JES	／(株)サン・エンジニア	
JFEスチールグループ	(株)日本海水	
(JFEスチール(株)／JFE建材(株))	日本基礎技術(株)	
JFEミネラル(株)	(一社)日本基礎建設協会	
協同組合 Masters ジオテツ工法研究会	(一社)日本杭抜き協会	
(株)地盤試験所	日本コンクリート工業(株)	
／東邦地下工機(株)	日本電子(株)	
地盤注入開発機構	日本ヒューム(株)	
清水建設(株)	根本企画工業(株)	
ジャパンパイル(株)	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構	

※掲載名は出展時のものです

来場者数：
(同時開催展と
あわせて)

会期	天気	地盤技術フォーラム
9月18日(水)	晴れのち曇り	2,514名
9月19日(木)	晴れ一時雨	3,160名
9月20日(金)	曇りのち晴れ	3,258名
合 計		8,932名



※四捨五入のため、合計が100%にならないケースもございます。

2026 同時開催展

※各展来場者は下記の同時開催展も無料で入場可能となります。

JIMA2026【第13回総合検査機器展】

製造業を主とした検査・計測・試験・評価・保守に関する専門展示会

展示内容：エックス線、超音波、渦流、磁粉、浸透、歪、漏えい、ビジュアル(光学)、レーザー、マイクロ波など

主 催：一般社団法人日本検査機器工業会 特別協力：産経新聞社

INTERMEASURE2026【第32回計量計測展】

計量計測業界、最大規模。世界の最先端技術が一堂に集まる総合展示会

展示内容：長さ、角度、形状、厚さ等測定機器、光学測定機器、測量機器、分析機器、電気指示計器・測定器、放射線計器など

主 催：一般社団法人日本計量機器工業連合会 特別協力：産経新聞社

センサエキスポジャパン 2026

IoT社会とつながるセンシング技術とその応用分野、機器、システム、ネットワークに関する専門展示会

展示内容：センサ、コントロールとその応用技術、機器、システム、ネットワーク、情報など

主 催：産経新聞社

FORESTRISE 2026【次世代森林産業展】

“森林産業”の活性化に向けた連携・交流を創出する専門展

展示内容：DX(デジタル変革)、ドローン、モバイル、IoT、クラウド、AI、ロボット、ビッグデータの利活用など、スマート林業への転換の必要性を発信する国際見本市。

主 催：産経新聞社

2026知財・情報フェア&コンファレンス

知財戦略に役立つシステムや情報を集めた国内最大規模の知財に関する展示会

展示内容：広く知的財産関連の情報や製品、技術、サービスなど

主 催：一般社団法人発明推進協会、一般財団法人日本特許情報機構、産経新聞社



会場への交通

Access

●りんかい線

新木場駅 (JR京葉線、東京メトロ有楽町線)	⇒ 約5分 ⇒	国際展示場駅
大崎駅 (JR)	⇒ 約14分 ⇒	[下車徒歩約7分]

●ゆりかもめ

新橋駅 (JR、都営地下鉄浅草線、東京メトロ銀座線)	⇒ 約22分 ⇒	東京ビッグサイト駅
豊洲駅 (東京メトロ有楽町線)	⇒ 約8分 ⇒	[下車徒歩約3分]

●BRT

新橋駅	⇒ 約17分 ⇒	国際展示場駅 [下車徒歩約7分]
-----	----------	------------------

●バス〈都営バス〉

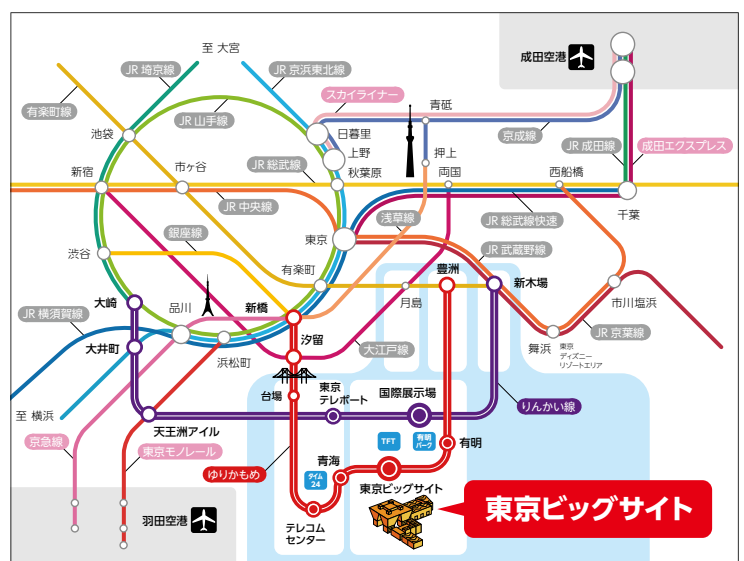
東16 東京駅八重洲口 (東16系統、豊洲駅前経由)	⇒ 約40分 ⇒	東京ビッグサイト
都05-2 東京駅丸の内南口 (勝どき駅前経由)	⇒ 約40分 ⇒	
門19 門前仲町 (門19系統、豊洲駅前経由)	⇒ 約35分 ⇒	

●空港バス

羽田空港	⇒ 約25分 ⇒	東京ビッグサイト
------	----------	----------

●首都高速道路

台場・有明・臨海副都心・豊洲出口から約5分		
-----------------------	--	--



■主催者事務局所在地

産経新聞社 事業本部 コンベンション事業部
〒100-8079 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL. 03-3273-6180 FAX. 03-3241-4999
<https://www.exposankei.jp>

■オーガナイザー／展示会事務局

(株) シー・エヌ・ティ
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F
TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909 E-mail: info2026@sgrte.jp
<http://www.cnt-inc.co.jp>